

## 第12回目を迎えた「関西まちづくり賞」

関西支部では、関西におけるまちづくりおよび都市計画の進歩・発展に資することを目的として、かつて支部長を務められた故仙石泰輔氏ならびに故田中孝男氏のご遺族からのご寄付を基金として「関西まちづくり賞」を設け、「まちづくりおよび都市計画の進歩・発展に著しい貢献をしたすぐれた成果または実績」を表彰することにより、これを讃えるとともに支部会員の意識の高揚をはかっています。

この賞は、1998年11月に設けられた後、毎年その表彰を行ってきており、2009年度で12回目を数えています。

## 2009年度の選考と授賞プロジェクト

2009年度は、都市計画・まちづくり分野において行われた調査・研究・設計・事業およびまちづくり活動のうち、特に、都市計画の発展に資する特色ある成果で、支部会員が直接関与もしくは推薦するものを対象とし、「新しい試み」「継続的な活動」「協働の取り組み」「他の地域で参考となる提案」を評価の視点として設定し、2009年10月末を締め切りとして推薦を受け付けました。

この結果、6件の応募があったので、支部内に設けられた「関西まちづくり賞委員会」が中心となって、「応募資料の審査」「追加資料の提出要請」「応募者からのヒアリング」「現地調査」等の選考作業を行い、最終的に支部幹事会の議を経て以下の2プロジェクトが表彰対象として決定されました。

### 都心型地域コミュニティによる水辺の再生(東横堀川水辺再生協議会)

このプロジェクトは、旧住民、新住民、および多数のオフィス従業員等が混在することにより、コミュニティが希薄なまちと化してしまった大阪市都心部のオフィス街において、前述した三者が一体となった組織を形成し、地域資源である川・水辺の美化活動等を展開することにより、地域コミュニティの再生を実現しつつあるものです。

### 大阪の歴史的都心「船場」のまちづくり(船場げんきの会)

このプロジェクトは、都心部のまちづくりにおいて、地域のまちづくり活動グループを緩やかにネットワークする新しいタイプの組織を確立して、それをベースに地域固有の文化の再生という成果をあげたものです。

## 表彰式およびミニシンポジウムの開催

表彰式は、さる2010年4月13日関西支部総会に引き続き行われ、表彰状・盾の授与のあと、受賞者からのプレゼン、そして受賞者代表、まちづくり賞委員をパネラーにミニシンポジウムを開催し、会場参加者を含めて意見交換を行いました。

会場からは、二つのプロジェクトについて、成果を上げている推進体制、活動の今後の方向性などについて質問が出され、これらのプロジェクトにおいて中核的な役割を果たした団体と地域のグループとの連携の重要性とともに、今後は地域グループがその中核的役割を果たしていくことが求められること、グループどうしの「やわらかなネットワーク」の形成という活動に今後さらなる展開が期待されることなどの意見が表明されました。

最後に、支部としてこのような顕彰活動を独自に行っているのは関西支部だけであること、そのなかから関西独自の特色を持つまちづくり活動などが発掘されてきていること、そのような成果をもとにこれからも関西からまちづくりの発信していくことなどを確認してシンポジウムの幕を閉じました。



写真1. 表彰式



写真2. 受賞者によるプレゼン



写真3. 受賞者を交えてのミニシンポ